

ナンバリング	B②09	科目名	こどもと健康
担当形態	単独	担当教員	松原 敬子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ③		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」 フレーベル館 「保育所保育指針」 フレーベル館		
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	1 単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の定義と乳幼児期の健康の意義について説明できる。 ・乳幼児期を通した身体と運動の発達を説明できる。 ・乳幼児期の基本的な生活習慣の形成とその意義を説明できる。 ・安全教育に関する基本的な考え方を理解している。 		
授業の概要	<p>今日の子どもを取り巻く環境を踏まえ、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基礎となる知識や技能を身につけることを目的とします。</p> <p>乳幼児期の子どもの身体と運動の発達、生活習慣、安全教育について、これまでの実習での事例を互いに共有したり、グループでのディスカッションをしたりしながら、実態に伴った理解を深めていきます。その上で、子どもの健康を支える保育者の役割について考察します。</p>		
授業計画	<p>第 1 回 健康の定義、昨今の子どもを取り巻く環境と健康</p> <p>第 2 回 乳幼児期の身体の発達</p> <p>第 3 回 乳幼児期の運動発達の特徴</p> <p>第 4 回 遊びと生活の中での子どもの身体活動</p> <p>第 5 回 子ども健康と安全教育、遊びの中で育む安全意識</p> <p>第 6 回 乳幼児期の生活習慣、園生活の中で育む生活習慣</p> <p>第 7 回 生活習慣を育む保育者の役割と家庭との連携</p> <p>第 8 回 子ども健康における今日的課題と保育者の役割、まとめ</p>		
準備学習と必要時間	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として指定された資料を読んだり、授業に関する事例を調べたりすること。 <p>(必要時間: 60 分)</p>		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業毎の小レポート: 35% ・授業内での取り組み (グループ活動やディスカッションでの積極的な取り組みや発言内容): 35% ・まとめのレポート: 30% 		

参考文献	無藤隆 他(2018)「事例で学ぶ保育内容<領域>健康」萌文書林 他、随時授業内で紹介します。				
特記事項	なし				
課題へのフィードバック方法	授業最後に書く小レポートは、次の授業のはじめに紹介し全体で共有する。 その他、授業内での発表には随時口頭でコメントをする。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	領域及び保育内容の指導法に関する科目・健康
	その他		保育士資格	必修	
教員の実務経験					